

「ニーズ見抜く力重要」

ハルナビバレッジ青木さん

高崎 地域住民有志らが、絆を強めることを目的に活動する「金古暖話塾」が28日、高崎市金古町の金古公民館で開かれ、約60人がハルナビバレッジ（同市）の創業者、青木青志名誉会長（83）の講演「はじめたら、

おわりはない」に聞き入った。
青木会長は、缶が飲料容器の6割以



上を占めていた創業時に、いち早くペットボトルを導入したエピソードを紹介。「経営者や管理職は時代の流れやニーズを見抜く能力が特に重要だ」と強調した＝写真。

友人に誘われて来たという吉岡町の自営業、中沢弘光さん（81）は「講演を聞いて力が湧いた。周囲に感謝して生きていくことが大切だと思った」と満足そうに話した。